

上下水道局

# 上水道課

課長 松崎 勉

**事務事業評価票**

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水道施設耐震化事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >	
会計名	上水道会計
予算中事業名	水道施設耐震化事業

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >	事業計画年度	H25 ~ H35
大規模地震が発生した場合に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるとともに、被災時に水道水が早期に供給できるよう、市街地の主要な水道施設について耐震化整備を行うもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
第1次耐震化事業(松本地区)
1 基幹施設耐震化(水源地・配水地) 自己水源施設2カ所、配水地9カ所の耐震化(島内第1、第2水源、城山蟻ヶ崎、並柳第1、第2、藤井、寿、茶臼、岡田第2配水地、藤井減圧槽)
2 基幹管路耐震化 配水本管及び重要送水管 L=3.9km
3 平成29年度実績 (1) 島内第1水源地、城山配水地、蟻ヶ崎配水地の耐震補強(3/11施設) (2) 並柳第2配水地の配水池耐震補強着手(平成31年度完了予定) (3) 中心市街地の配水本管 L=589m(1,836/3,862m)

< 現状に対する認識 >
災害に強い水道施設の整備を進めるため、既存施設の耐震性を調査し効果的かつ経済性を考慮し耐震化、延命化を進める。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設耐震化率(%)				
指標の設定理由	主要配水地の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	27.3	27.3	27.3	45.5	54.5
実績値	27.3	27.3			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	管路耐震化率(%)				
指標の設定理由	基幹管路の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	28.7	48.4	67.7	83.5	90.4
実績値	28.7	47.5			
達成度	100.0%	98.1%			

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	821,090	174,774			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	821,090	174,774			
人件費(千円)	46,140	30,760			
人工	6	4			
正規	46,140	30,760			
嘱託	0	0			
合計コスト +	867,230	205,534			
前年度比	-	23.7%			

**事務事業評価票**

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽配水管改良事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなくまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	老朽配水管改良工事

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

安心して飲める安全な水を確保するため、中心市街地に残る老朽化した配水管を計画的に更新するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業概要	老朽配水管改良事業 老朽配水管(普通鑄鉄管:CIP)約18kmの改良工事をH28から実施
2 H29事業実績	(1) 実施設計業務委託(蟻ヶ崎4丁目)L=340m (2) 推進工法に伴う土質調査業務委託(村井駅北:笹賀踏切) (3) 大型店の出店に伴い交通規制対策のため、別事業の進捗を図った。

<現状に対する認識>

住宅や商店が多数混在し、交通量の多い路線での工事するため、広報活動などで沿線住民への周知を行い、他の道路占有者と協議を行いながら、計画的に改良工事を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	老朽配水管の更新率				
指標の設定理由	老朽化した配水管の更新状況が確認できる指標のため				
目標値(km)	0	0.55	0.82	0.38	0.45
実績値	0	0			
達成度	-	0.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	56,840		14,800							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	56,840		14,800							
人件費(千円)	23070	人工	23070	人工		人工		人工		人工
正規	23070	3	23070	3						
嘱託	0		0							
合計コスト +	79,910		37,870							
前年度比	-		47.4%							

**事務事業評価票**

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽給水管取替事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	上水道
予算中事業名	老朽給水管取替事業

<事業の狙い>

事業計画年度 H20 ~ H58

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、老朽給水管を計画的に更新する。  
また、老朽給水管の漏水を防止し、水道水の有効利用するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽給水管取替事業

- 漏水調査に基づき、漏水量の多い配水区を中心に、老朽給水管約40,800栓を取り替える。
- H29年度実績
  - 直管 20栓
  - 委託 879栓
  - 工事 143栓
 取り替え合計 1,042栓(7,535/40,800栓)  
 平成29年度の委託については、集合住宅の取替えが多かったため、予定していた委託数(767栓)より112栓多く実施しました。

<現状に対する認識>

取り替えには多額の費用と期間を要するため、経営状況を見極めながら計画的に進める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	老朽給水管の取り替え栓数				
指標の設定理由	老朽給水管の更新状況が確認できる指標のため				
目標値	900	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	816	1,042			
達成度(%)	91	104			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	120,000		150,000							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	120,000		150,000							
人件費(千円)	30,760	人工	30,760	人工		人工		人工		人工
正規	30,760	4	30,760	4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	150,760		180,760							
前年度比	-		119.9%							

**事務事業評価票**

事務事業名	水質検査事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	上水道会計
予算中事業名	水質検査事業

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >		< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、計画に基づき水質検査を確実に実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 法定検査  
常に安全で良質な水道水を供給するため、法令で定められた水質検査を行う。
- 放射能検査  
次世代を担う子どもたちの安全を確認するため、水道水中の放射性物質の測定を継続して行う。
- H29年度実績  
全51項目中47項目を直営、4項目を委託にて水質検査を実施し、計画通り完了した。  
なお、平成30年度から全51項目を直営にて実施するため、委託している4項目について、標準作業書・操作手順書の作成等を行い、全51項目の直営検査に向けた準備を完了した。  
  
放射能検査は、6地区の浄水について毎月実施し、検出下限値以下を確認した。

水道水質基準項目全51項目のうち、47項目を直営検査で実施

- 直営検査を充実し、水質検査の信頼性を恒久的に確保・維持する必要がある。
- 水道水中の放射性物質検査は、6地区(松本、四賀、梓川、波田、安曇、奈川)で、月1回実施している(異常なし)。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A
-------------	------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	直営検査項目数				
指標の設定理由	水道法に規定された水質項目について、直営検査の状況を確認できる指標のため				
目標値	47	47	51	51	51
実績値	47	47			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	放射性物質測定回数(年間)				
指標の設定理由	放射性物質の観測状況を確認できる指標のため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,059		7,675							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,059		7,675							
人件費(千円)	25,920	人工	25,920	人工		人工		人工		人工
正規	23,070	3	23,070	3						
嘱託	2,850	1	2,850	1						
合計コスト +	32,979		33,595							
前年度比	-		101.9%							

**事務事業評価票**

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	集中監視制御設備更新事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給		5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	上水道会計
予算中事業名	集中監視制御設備更新事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H21～H30

水源地や配水地の水運用を行う集中監視制御システムについて、水道水の安定供給を行うため、全地区主要な施設の集中監視ができるように、システム及び設備の更新を行い、適正な維持管理と効率的な水運用を継続して行います。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 遠方監視制御設備更新事業(H24～H30)
  - 松本地区  
遠方監視制御設備更新 58ヵ所
  - 奈川地区(H28～H29)  
遠方監視制御設備更新
- 平成29年度実績
  - 松本地区 遠方監視制御設備更新と調整更新(58/58)完了、調整(29/58)
  - 奈川地区 遠方監視制御設備の更新完了

< 現状に対する認識 >

合併地区(波田・安曇)の遠方監視制御装置が未完了であるため、遠方監視制御装置を設置することにより、全6地区の水運用を一元管理し、水道水を安定供給を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業進捗率				
指標の設定理由	適正な維持管理の実現に向けた事業の状況を確認できる指標のため				
目標値	62	70	100		
実績値	62	70			
達成度	100.0%	100.0%	0.0%		
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	110,900		160,220							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	110,900		160,220							
人件費(千円)	15,380	人工	23,070	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	23,070	3						
嘱託	0		0							
合計コスト +	126,280		183,290							
前年度比	-		145.1%							

**事務事業評価票**

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	合併に伴う拡張事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまちなち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給	5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	拡張事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H22～H30

- 1 梓川花見地区の安定した水道水を供給するため、地下水源(南大妻水源地)へ切り替える。
- 2 波田地区水道施設整備計画に基づき、男女沢浄水場の耐震補強と関連する老朽配水管改良工事を実施する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

合併に伴う拡張事業

- 1 梓川花見地区配水区整備事業(H24～H30)  
水源2ヶ所(南大妻第1.2水源地)、加圧所2カ所、導水管 200mm L=520m、送水管 250mm L=7,970m
- 2 波田地区配水管改良事業(H22～H29)  
赤松地区の配水管改良 L 2.8km
- 3 H29年度実績  
(1) 導水管L=515m、水源1カ所(2/2施設)  
(2) 花見地区舗装本復旧A=4,530㎡  
(3) 赤松地区舗装本復旧A=1,056㎡

<現状に対する認識>

両地区の整備が完了することで、安定した水の供給が確立される。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	梓川花見地区(事業進捗率)				
指標の設定理由	梓川花見地区拡張事業の進捗状況が確認できる指標のため				
目標値	82.1	99.1	100		
実績値	82.1	99.1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	波田赤松地区(事業進捗率)				
指標の設定理由	基幹管路の更新状況が確認できる指標のため				
目標値	92	100			
実績値	92	100			
達成度	100.0%	100.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	478,000	238,685			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	478,000	238,685			
人件費(千円)	53,830	人工 30,760	人工	人工	人工
正規	53,830	7	30,760	4	
嘱託	0		0		
合計コスト +	531,830	269,445			
前年度比	-	50.7%			



# 下水道課

課長 島崎 俊昭

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道処理場長寿命化事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助改良事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

老朽化した設備の改築・更新を計画的に実施し、ライフラインを確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 浄化センター
(1)宮渚浄化センター改築事業 低段水処理施設・汚泥処理施設・管理棟・ポンプ場機械電気設備改築事業
(2)両島浄化センター改築事業 中央監視設備・水処理施設・汚泥処理施設・管理棟・機械電気設備改築事業

<現状に対する認識>

老朽化した施設の改築更新は喫緊の課題であるが、経営状況から優先順位を決めて効率的に計画を実施している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	宮渚浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	全ての機器に共通して数値化できるため				
目標値	39.2%	39.8%	41.8%	47.6%	60.2%
実績値	39.2%	39.9%			
達成度	100.0%	100.2%			
② 成果指標(指標名)	両島浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	全ての機器に共通して数値化できるため				
目標値	5.4%	20.3%	27.9%	46.4%	46.5%
実績値	5.4%	20.3%			
達成度	100.0%	100.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	290,850		522,380				
国・県	157,450		270,000				
利用者負担金							
その他	115,700		229,100				
一般財源	17,700		23,280				
② 人件費(千円)	12,304	人工	12144	人工		人工	人工
正規	12,304	1.6	12144	1.6			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	303,154		534,524				
前年度比	—		176.3%				

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道総合地震対策事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助改良事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
	松本版総合戦略		⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H20~H32

地震災害時に施設の被害を抑制し、ライフラインを確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 管渠  
平成27年度は第2期計画として管渠の耐震調査設計を行い、下水道施設の耐震化事業に着手  
第2期計画は平成31年度完了目標として推進  
長寿命化計画と整合を図る

2 浄化センター  
・宮渕浄化センター  
管理棟耐震工事(H24~H26)を実施した。今後、水処理施設、汚泥処理棟耐震工事を実施  
・両島浄化センター  
管理棟耐震工事(H29~H31)を行う。今後、水処理施設、汚泥処理棟耐震工事を実施。H29は耐震設計を実施。  
・他の処理場は、今後耐震診断を実施予定。

<現状に対する認識>

・老朽施設の改築更新が優先であるが、あわせて耐震工事も実施していく。  
・下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震工事を着実に実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	管渠施設の耐震化(整備延長37.1km)				
指標の設定理由	第2期下水道総合地震対策計画によるもの				
目標値	0.2	0.5	0.4	1.5	0.0
実績値	0	0.4			
達成度	0.1%	1.0%			
② 成果指標(指標名)	浄化センター耐震化(延床面積5200㎡)				
指標の設定理由	第2期下水道総合地震対策計画によるもの				
目標値	1,316	0	1,162	2,722	0
実績値	1,316	0			
達成度	25.0%	25.0%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	141,390		94,380				
国・県	70,600		47,190				
利用者負担金							
その他	63,600		42,326				
一般財源	7,190		4,864				
② 人件費(千円)	8459	人工	8459	人工		人工	
正規	8,459	1.1	8459	1.1			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	149,849		102,839		0	0	0
前年度比	—		68.6%		0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道管渠維持管理業務
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	管渠費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
	松本版総合戦略		⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

~

下水道法第3条により下水道管渠を適正に管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

既設下水道管渠を維持管理

<現状に対する認識>

計画的な管路点検結果に基づき管路清掃を実施している。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	管路清掃延長(m)				
指標の設定理由	管路の閉塞を未然に防ぐため、過去の実績により設定				
目標値	9,580	9,580	9,580	9,580	9,580
実績値	11,183	13,434			
達成度	116.7%	140.2%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	150,898		151,039				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	150,898		151,039				
② 人件費(千円)	46,140	人工	45,540	人工		人工	
正規	46,140	6	45,540	6			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	197,038		196,579				
前年度比	—		99.8%				

**事務事業評価票**

事務事業名	管渠長寿命化事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	汚水渠改良事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H21 ~ H32

老朽化した管渠を計画的に改築するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

布設後30年以上経過した下水道管渠を対象とした、劣化度調査に基づく長寿命化計画により、管渠を改築

< 現状に対する認識 >

国の交付金を取り入れ長寿命化計画に基づき実施している。

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
				松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	改築工事延長(km)				
指標の設定理由	長寿命化計画によるもの				
目標値	1.1	3.0	1.0	1.6	1.5
実績値	1.1	3.2			
達成度	100.0%	106.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	71,960		314,725							
国・県	35,980		157,362							
利用者負担金										
その他	32,300		141,365							
一般財源	3,680		15,998							
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	79,650		322,315		0		0		0	
前年度比	-		404.7%		0.0%		#DIV/0!		#DIV/0!	

## 事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水質監視業務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	営業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

下水道施設の適正な維持管理及び浄化センターからの良好な放流水の水質維持を目的として、下水道における適切な水質管理を行うため、水質監視を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 事業場排水の水質監視  
事業場下水排水を下水道排除基準に適合させるための、監視と指導
- 2 主要幹線の水質監視  
継続して主要幹線の水質を監視  
異常が確認された場合、排出源特定のための調査と排出源への指導  
また、浄化センターの水処理、汚泥処理の対策検討
- 3 浄化センターの水質管理  
日常の水質検査結果を受けた、水処理、汚泥処理等運転管理の検討

平成29年度 事業場排水の水質監視  
延べ検査項目数 1,064 項目 うち延べ違反項目数 11 項目  
延べ立入検査件数 135 件

平成29年度 幹線水質検査 12 回

< 現状に対する認識 >

事業場からの下水道排除基準に対する延べ違反項目数は、H28年度18項目が11項目に減少、適合率はやや向上した。違反事業場数が減少し、同一事業場による違反も報告聴取や現地確認等指導により減少したものの、再度基準超過する事業場があるため、重点的に監視を継続、啓発していく必要がある。

また、主要幹線水質検査により異常値と考えられるケースについて、今後さらに追跡調査を充実させていく体制づくりが必要である。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	排除基準適合率(%)				
指標の設定理由	事業場で排除基準が順守されているかを明確に示すことが可能であるため				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	98.3	99.0			
達成度	98.3%	99.0%			
成果指標(指標名)	幹線水質検査(回/年)				
指標の設定理由	水質の状態を定期的に確認していることを示すことが可能であるため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	21,650		21,384							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,650		21,384							
人件費(千円)	41,300	人工	40,840	人工		人工		人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5						
嘱託	2,850	1	2,890	1						
合計コスト +	62,950		62,224							
前年度比	-		98.8%							